

令和4年大豆農事メモ（狭畦栽培別号①）

令和4年5月20日
白山石川営農推進協議会

<狭畦栽培の播種時のポイント>

- 品種「里のほほえみ」を用い6月中旬以降(6/11~25)に播種する。
- 播種量8kg/10a、播種深度4cmを基準とし苗立本数を確保する。
- 無培土の管理となるため、土壌処理剤による初期雑草を確実に行う。

<具体的な留意点>

1 播種前のほ場準備

- ・排水対策、pH矯正は通常の栽培と同様に実施

⚠️ 特に狭畦栽培は栽培期間中に培土を行わないため、排水対策は重要です！

2 播種の設定

慣行栽培とは播種量と播種深度が異なるので注意！

播種時期	10a当たり 播種量	播種深度	播種密度		目標苗立本数 (苗立率80%換算)	
			条間	株間	1m当たり	1㎡当たり
6月11日~ 25日	8kg	4cm*	幅25cm	17~20cm	4本	15~17本
			幅30cm	14~17cm	4~5本	

※狭畦栽培は株が徒長しやすく、倒伏を防ぐために播種深度を慣行よりも深くする（参考：慣行では3cm）

3 播種の流れと注意点

作業適期は6月11日~25日

耕起整地

種子消毒

播種

土壌処理

ねらい

出芽・苗立確保と
初期除草の完結

播種深度や土壌処理等の作業精度を高めるために
晴天日に期間を空けずに各工程を実施するのがベスト

- 施肥および土壌処理については
慣行(畝間80cm)に準じて実施
⇒「大豆農事メモ1号」を参照
- ※無培土のため施肥は一発肥料を用いる

